

モニタリング調査結果

種名 : ヤマエンゴサク

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 橋本

調査期間	気づいたこと
2018年3月 ~2018年4月	開花茎は3本。ここ数年徐々に勢力が衰え、個体数も減少し、株も小さくなっている。ササ刈りをして経過を観察する。
2019年3月 ~2019年4月	開花茎数は1本。個体数はさらに減少してついに1株となり種子も結実しなかった。要注意の状態だ。
2020年3月 ~2020年4月	最後の1株に開花茎1本を確認。しかし今年はこの開花茎に5個の果実が結実しており、来年に期待したい。この間周囲で近似種のジロボウエンゴサクが急増しており、開葉期・花期ともに長く大量の種子を生産・散布するジロボウエンゴサクに圧迫されているように思われる。
2021年3月 ~2021年4月	昨年まで1株だったが、もう1株見つかって2株になった。これまでの1株は葉のみ。新しくイチリンソウエリアで出た1株は花茎が1本で花が2輪咲いた。果実は確認出来なかったが、今後を期待をしたい。
2022年3月 ~2022年4月	4月20日に開花数を数えた。イチリンソウエリアのヤマエンゴサクに花は咲かなかった。Bエリアに2株あり、それぞれに花が咲き、花は2茎。
2023年3月 ~2023年5月	4月10日に昨年と同様に2茎咲いた。